

# 市民病院だより

地域と共に考える医療



趣味は鮎釣りです

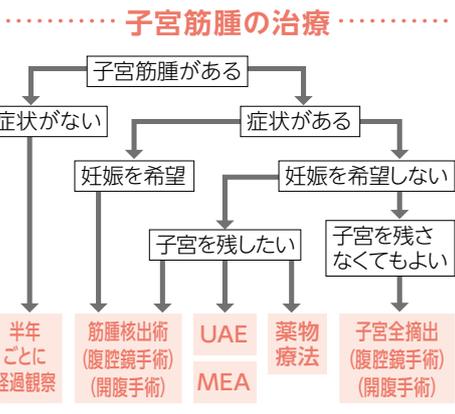
副院長・婦人科部長 **藪下 廣光** やぶしたひろみつ  
 愛知医科大学客員教授 日本産科婦人科学会専門医・指導医

## 子宮筋腫のはなし

子宮筋腫は良性の腫瘍で、そのものが直接命に関わることはなく、悪性に変化することも基本的にありません。35歳以上の女性の2〜3割、40歳以上では4〜5割にみられます。代表的な症状は、「生理の量が増えて大きな血塊が出る・生理が止まらない」ですが、症状の種類や程度はさまざまです。主な治療は手術で、筋腫だけをとる「筋腫核出術」や子宮ごととる「子宮全摘術」、また、「腹腔鏡手術」や「開腹手術」など、多様な選択肢があります。また、手術ではなく足の付け根の血管からカテーテルを入れ、筋腫に栄養を運ぶ血管を詰まらせて筋腫を小さくして症状を軽減する「子宮動脈塞栓術(UAE)」や、アプリーターという器具を子宮の中に入れ、マイクロ波で子宮内膜を照射して生理の量を減らす「マイクロ波子宮内膜アブレーション(MEA)」もあります。薬物療法としては、症状

を緩和する「対症療法」や筋腫を小さくする「ホルモン療法」があります。治療法は、病状に加え、今後妊娠を希望するか、妊娠は希望しないが子宮を残したいか、年齢、仕事、家庭の事情などを考慮したうえで、複数の中から選択することができます。それぞれの治療法をよく理解して医師とよく相談し、自分の病状やライフスタイルにあった治療法を選びましょう。

問 市民病院 TEL 22-5211



# 教育最前線!

問 教育総務課 宇野 TEL 23-5856

## 学校における食育の推進

～食を通して自分で判断し、実践していく力を育てる～

厚生労働省の「小中学生の食事状況調査」によると、学校給食が無い日は、給食がある日に比べ、食物繊維・カルシウムなどの栄養素の摂取量が目標量に達していない児童・生徒が多いとされています。

このような状況も踏まえ、学校給食では、衛生管理基準に基づいた安心安全な給食を提供するとともに、給食を活用して、6つの指導の観点(以下に提示)を大切にしながら、学校全体で計画的に子どもたちへの食育を実施しています。例えば、毎月の献立に教科と関連したメニューを取り入れ、教科学習の復習や発展に役立てたり、食生活の実践につながるように指導しています。7月は小学2年生の生活科で学習する「野さいをしゅうかくしよう」に関連したメニュー「夏野菜カレー」を取り入れています。



栄養士による食育活動の様子

今後も、学校給食を「生きた教材」として活用することで、多治見市の子どもたちが、栄養や食事のとり方について、正しい知識に基づいて自ら判断し、実践していく能力を身につけていけるよう働きかけます。

### 食に関する6つの指導目標

- 1 食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する(食事の重要性)
- 2 心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事のとり方を理解し、管理していく能力を身に付ける(心身の健康)
- 3 正しい知識・情報に基づいて、食物の品質や安全性などについて判断できる能力を身に付ける(選択する力)
- 4 食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々へ感謝する心をもつ(感謝の心)
- 5 食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を身に付ける(社会性)
- 6 各地域の産物、食文化や食に関わる歴史等を理解し、尊重する心をもつ(食文化)